

浜通り地方の 復旧・復興加速化 ～事業概要～

一歩ずつ未来へつなぐ

薄磯地区海岸



ふくしまから
はじめよう。

2018年度版

福島県土木部

目次

東日本大震災の被害状況と完了見通し

避難指示区域の推移	P. 2
東日本大震災の被害	P. 3
東日本大震災で被災した公共土木施設の復旧	P. 4
津波被災地における復旧・復興事業の完了見通し	P. 5～6

避難されている方々の住宅対策

復興公営住宅による安心・安全なまちづくり	P. 7～8
応急仮設住宅による住まいの確保と適切な維持管理	P. 9
住宅の復興支援によるくらしの基盤づくり	P. 10

津波被災地の復興まちづくり

総合的な防災力の高い復興まちづくり		P.11～12	
新地町(新地駅周辺)	P.13～14	相馬市(原釜・尾浜地区)	P.15～16
南相馬市(原町区)	P.17～18	南相馬市(鹿島区)	P.19
南相馬市(小高区)	P.20	浪江町	P.21～22
双葉町	P.23～24	大熊町	P.25～26
富岡町	P.27～28	楢葉町	P.29～30
広野町(浅見川地区)	P.31～32	いわき市(久之浜地区)	P.33～34
いわき市(四倉地区)	P.35～36	いわき市(沼ノ内地区)	P.37～38
いわき市(薄磯地区)	P.39～40	いわき市(豊間地区)	P.41～42
いわき市(永崎地区)	P.43	いわき市(岩間地区)	P.44

復興を支える道路や物流基盤の整備

本県の復興に向けたふくしま復興再生道路の整備	P. 45～48
トピックス(相馬福島道路(相馬玉野IC～霊山IC)の開通	
JR常磐線の再開通、常磐自動車道4車線化、追加IC等の整備)	P. 49～50
港湾整備による地域産業の復興と国際物流の支援	P. 51～52
漁港整備による水産業の復興支援	P. 53～54

震災の記憶と教訓の伝承

復興祈念公園の整備	P. 55
-----------	-------

産業・雇用の創出

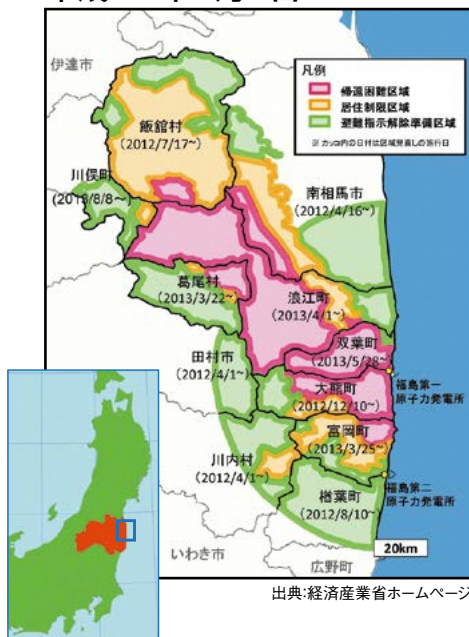
福島イノベーション・コースト構想	P. 56
------------------	-------

住民帰還への取組

特定再生復興拠点区域	P. 57～58
------------	----------

避難指示区域の推移

平成25年8月8日

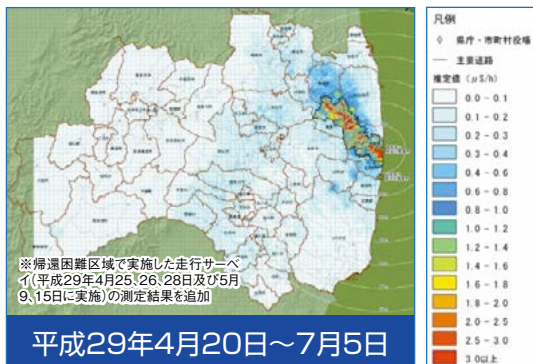


平成29年4月1日



福島県内の空間放射線量の推移

◆福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果等に基づく福島県全の空間線量率マップ



引用:ふくしま復興のあゆみ<第21版>

【復興の理念】

1. 復興・復興を成し遂げること、それが私たちの「使命」
2. 山積する課題に立ち向かうこと、それが私たちの「挑戦」
3. 子供たちの未来を切り拓くこと、それが私たちの「責任」
4. ふくしま復興の軌跡を残すこと、それが私たちの「誇り」

東日本大震災の被害状況と完了見通し

東日本大震災の被害

被害の概要

最大震度 **震度6強** (平成23年3月11日)

県全体の被害総額 **9,826** 億円 (平成24年11月30日発表)

■福島県災害対策本部 (平成30年2月26日発表)

死者 **4,040**人 行方不明者 **2**人

(全壊)15,224棟 (半壊)80,803棟 (一部損壊)141,044棟

避難者 **50,641**人

(県内等)16,439人 (県外)34,202人

■福島県内の公共土木施設 (平成23年4月27日発表)

公共土木施設被害箇所 **4,949**箇所

公共土木施設被害額 **3,162**億円

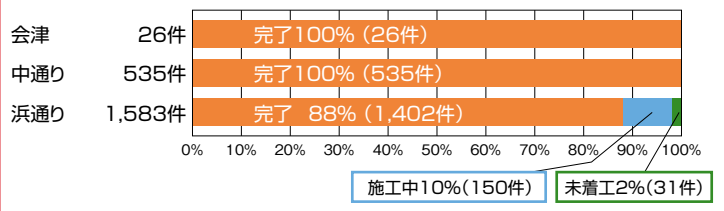
災害に伴う通行止め **108**路線 **169**箇所

※平成30年2月26日現在 (5路線 8箇所)

東日本大震災で被災した公共土木施設の復旧

(平成30年2月末現在)

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了 見通し ※帰還困難区 域を除く
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,144	2,113	98%	1,963	91%	
河川・砂防	283	272	96%	250	88%	H32年度
海岸	157	156	99%	121	77%	H32年度
道路・橋梁	807	797	98%	786	97%	H32年度
港湾	331	331	100%	321	97%	H29年度
漁港	469	460	98%	388	82%	H32年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了



【参考】避難指示区域等の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域等は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

※避難指示を解除した田村市、南相馬市、葛尾村、川内村、楢葉町、浪江町、川俣町、飯館村、富岡町の区域を含む。
帰還困難区域では査定継続中。

査定決定数 (箇所数)	着工 件数		完了 件数	完了率
	着工率	完了率		
359	328	91%	245	68%

内65箇所は帰還困難区域

津波被災地における 復旧・復興事業の 完了見通し

1 趣旨

○津波被災地(帰還困難区域を除く)の復旧・復興事業について、平成30年度までに約9割、復興・創生期間の最終年度である平成32年度までに概ね完了の予定です。

2 各事業の完了見通し

※平成30年2月7日公表

対象施設	事業内容	完了 年度	事業 箇所	事業進捗見通し(箇所・地区・工区数[累計])					
				H27 迄	H28 迄	H29 迄	H30 迄	H31 迄	H32 迄
①河川	被災した河川の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げる	H32	31	(1) 1	(11) 11	(17) 18	(25) 28	(31) 28	31
②海岸	被災した海岸の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げ及び消波堤や離岸堤等の復旧をする	H32	86	(21) 21	(45) 45	(63) 60	(83) 79	(86) 84	86
③排水機場	被災した排水機場を復旧する。(海岸堤防に隣接し湛水被害を防止するポンプ場や樋門などの復旧)	H30	37	(27) 27	(28) 28	(32) 29	(37) 37		
④港湾・漁港	被災した港湾及び漁港の防波堤や岸壁等の施設を復旧する	H32	15	(4) 4	(5) 5	(13) 10	(15) 14	14	15
⑤道路	被災した道路を原形に復旧する	H32	304	(285) 285	(293) 293	(300) 299	(304) 300	300	304
⑥津波被災地道路	津波の襲来前に内陸部や高台に速やかに避難するための道路(バイパス・拡幅)を整備する	H32	21	(1) 1	(5) 5	(10) 14	(19) 19	(20) 20	(21) 21
⑦防災緑地	津波を軽減し、市街地を守るために新たに植樹や盛土を築造する	H31	10		(1) 1	(3) 3	(7) 7	(10) 10	
⑧海岸防災林	津波や飛砂、強風等から農地を守る防災林を新たに築造する	H32	9	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(3) 3	(9) 9
⑨治山施設	被災した治山施設(防潮堤、護岸工、盛土)を復旧する	H31	10	(5) 5	(6) 6	(7) 7	(10) 9	10	
全 体			523	(345) 345 (66%) 66%	(395) 395 (76%) 76%	(446) 441 (85%) 84%	(504) 491 (96%) 94%	(516) 506 (99%) 97%	(523) 523 (100%) 100%

※津波による被災を受けた、浜通り沿岸部の9市町村(新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、広野町、いわき市)内の事業。
※帰還困難区域、および内陸部の事業を除く。(帰還困難区域内について新たに災害査定を受けているが、完了見通しについては、他機関との調整等に影響されるため、本表から除外している)
※海岸防災林は、環境省と旧避難指示区域内の仮置場等の撤去時期を調整している地区において、工事完了時期が未確定となっている。
※()はH29.2.7時点の数値

3 今後の進捗見通し(概況)

【平成30年度】

- 夏井地区海岸、岩間佐糠地区海岸等のいわき市内の4海岸が完了予定。
(いわき市の地区海岸について全海岸完成)
- 小沢排水機場等の8排水機場が完了予定。(排水機場(37箇所)完成)

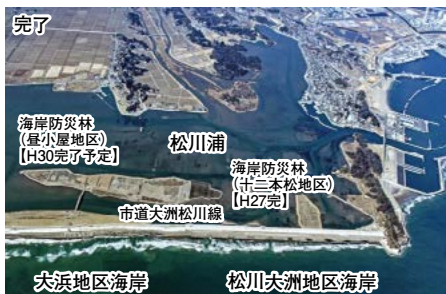
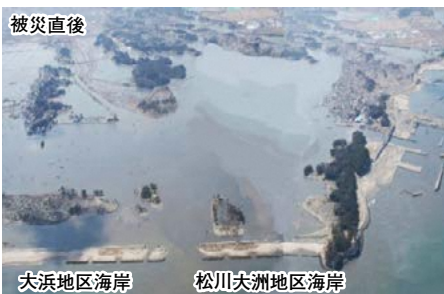
【平成31年度】

- 原釜・尾浜地区、久之浜地区、四倉地区防災緑地の3地区が完了し、防災緑地(10地区)が全て完了予定。
- 南川原地区治山施設が完了し、治山施設(10地区)が全て完了予定。

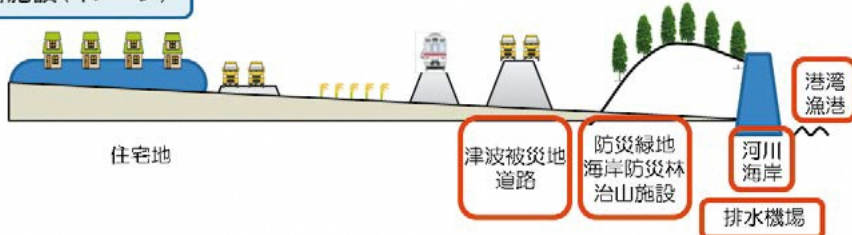
【平成32年度】

- 河川(31箇所)、海岸(86箇所)、漁港・港湾(15箇所)が全て完了予定。
- 道路(304箇所)が全て完了予定。
- 津波被災地道路が全て(21箇所)完了予定。

相馬市では、観光振興と生活利便性を向上させるための海岸堤防の整備がH29に完成しました。(市道大洲松川線も合わせて完了)



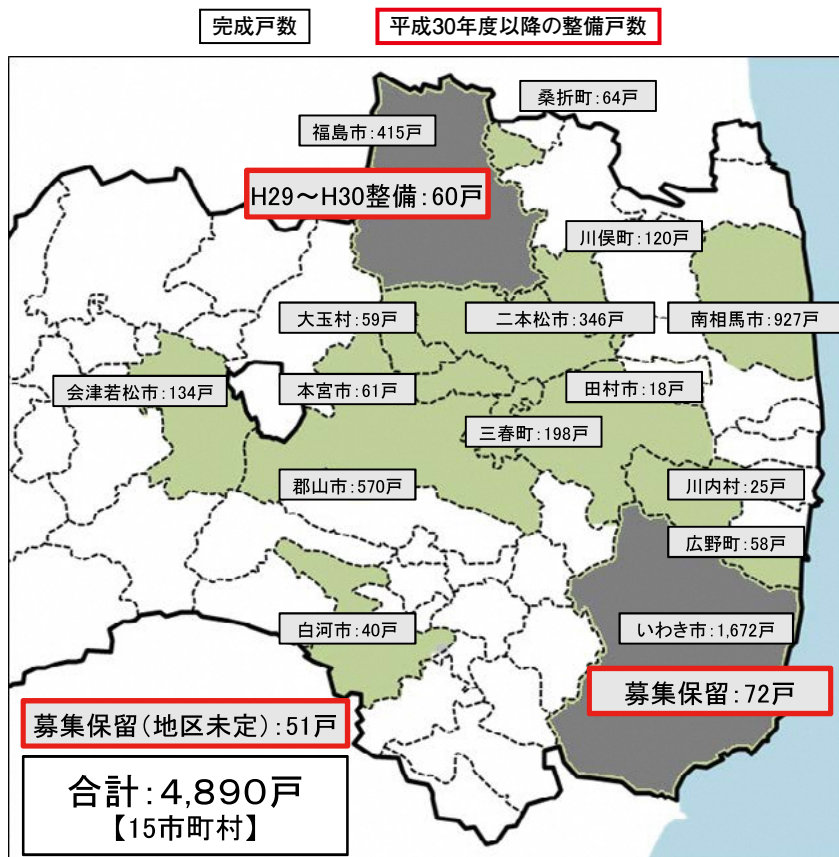
整備施設(イメージ)



復興公営住宅による 安心・安全のまちづくり

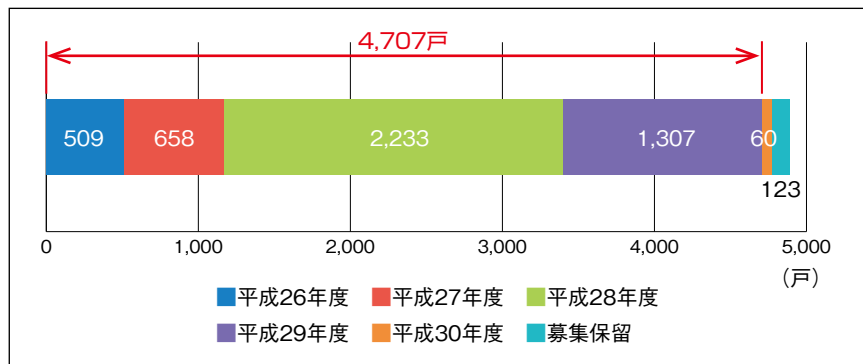
計画戸数4,890戸のうち、
平成29年度末までに4,707戸完成しました。

残りの183戸のうち、募集保留を解除した60戸は平成30年度後期の入居開始に向け工事を進め、保留中の123戸は保留解除次第、速やかに建設に着手します。



避難されている方々の住宅対策

年度別整備戸数



完成した復興公営住宅

石倉団地(二本松市)



北好間団地(いわき市)



鍵引渡し式

下北迫団地(広野町)



交流イベント

西町団地(南相馬市)ハロウィン交流会



応急仮設住宅による 住まいの確保と適切な維持管理

仮設住宅13,309戸の適切な維持管理

※平成30年2月28日時点

目標

避難生活の長期化等に対しても、良好な居住環境を維持するため、適切な管理に努めます。

応急仮設住宅供給に伴う様々な取り組み

①高齢者の生活支援

車椅子に対応



共同生活に対応



②良好な居住環境の支援

木ぐい白あり駆除の状況



木ぐい補強工事の状況



応急仮設住宅供与終了後の取組

応急仮設住宅を無償で譲渡します

供与終了後の応急仮設住宅の本体及び付帯設備を希望する市町村、公益法人、NPO法人、地域振興等に寄与する民間企業へ無償で譲渡します。

住宅の復興支援による くらしの基盤づくり

住宅復興マッチングサポート事業

工務店や設計者、不動産業者を紹介し、住宅再建を支援します

被災者や避難者の生活再建やふるさとへの帰還を促進するため、住宅の改修や建て替えを希望する方に、工務店や設計者、不動産業者を紹介します。

ふるさと帰還に向けた住宅調査支援事業

避難指示を受けた市町村が行う住宅状況調査を支援します

避難者の住宅再建・帰還を促進し、まちの活気を呼び戻すため、避難指示を受けた市町村が行う住まいの状況調査に補助します。

多世代同居・近居推進事業

子育て環境の充実等を図るため、多世代が同居・近居するための住まいづくりを支援します

親世帯と子ども世帯が同居・近居するための新築・中古住宅の取得、二世帯住宅へのリフォーム工事に要する経費の一部を補助します。

ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業

県産木材を活用した住まいづくりを支援します

県産木材を活用した住宅に県産品と交換可能なポイントを交付します。

【交付ポイント】

一般：20万円相当

被災者等：30万円相当

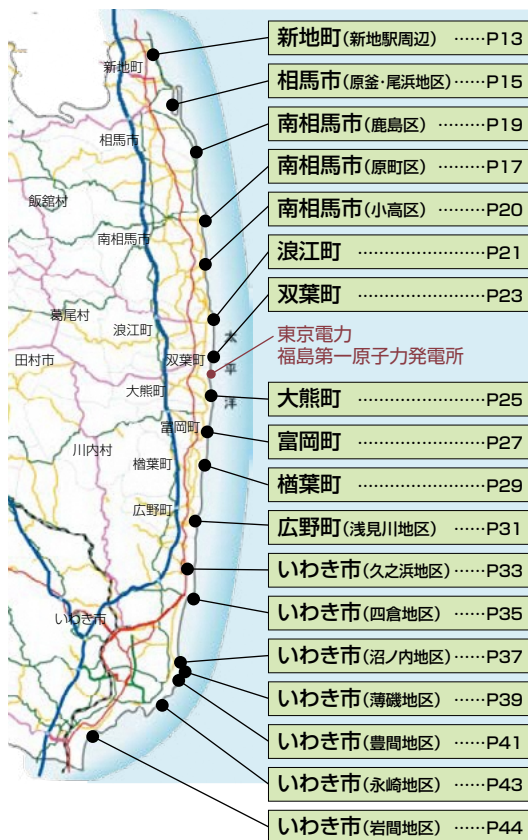


詳しくは **福島県建築指導課** で検索してください。

総合的な防災力の高い 復興まちづくり

最大9.3m以上の津波が発生し、沿岸部の
112km²が浸水被害

主な実施箇所



津波による住家被災状況 (新地町)



津波による住宅被災状況
(浪江町請戸漁港付近)



津波による海岸線の被災状況 (いわき市)



復興まちづくりの進め方

津波による浸水被害を受けた地域で、総合的な防災力の高いまちづくりを目指します。

○復興まちづくりのイメージ



海岸堤防の嵩上げ、防災緑地、道路、土地利用の再編など複数の手法を組合わせた「多重防御」と、避難路の確保や情報伝達手段の拡充などによる、ソフト・ハード両面からの総合的な防災力向上を目指します。

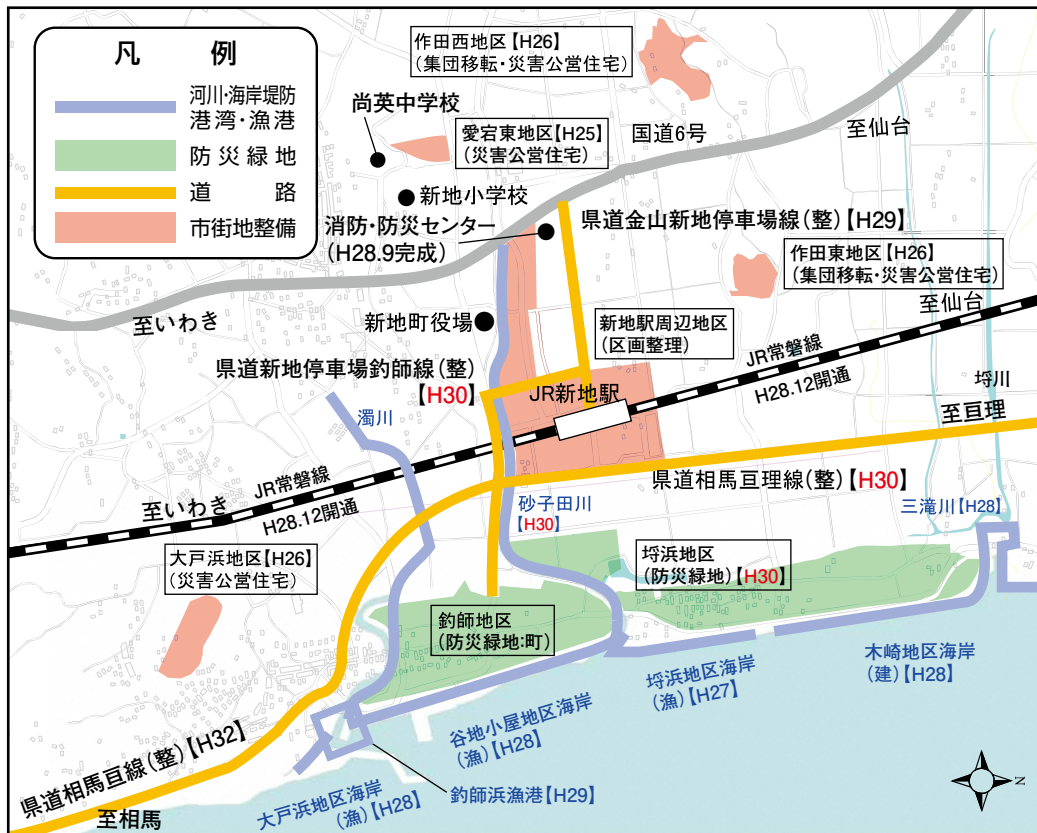
久之浜地区(いわき市)における復興まちづくり



新地町 新地駅周辺

復興まちづくりの基本的視点

- ① 命と暮らし最優先のまち
- ② 人と絆を育むまち
- ③ 自然と共生する海のあるまち



各地区共通

※市街地整備には、区画整理、集団移転、公営住宅などを含みます。

※各工区の末尾の【 】内の数字は、完了予定年度を表しています。

※各工区の後ろの、(整)は津波被災地道路のバイパス・拡幅、(災)は道路災害復旧、(建)は建設海岸、(農)は農地海岸、(港)は港湾海岸、(漁)は漁湾海岸、(海林)は海岸防災林、(治災)は治山施設災害復旧を表しています。

被災時の状況 谷地小屋地区海岸



埴浜防災緑地植樹祭2016 平成28年10月29日開催



復旧・復興工事の状況(新地駅周辺地区)



- ①観光産業に配慮したまちづくり
- ②新たな地域社会の再構築
- ③新たな災害から人命や財産を守る



被災時の状況 松川大洲海岸



復旧・復興工事の状況 松川浦漁港緑地

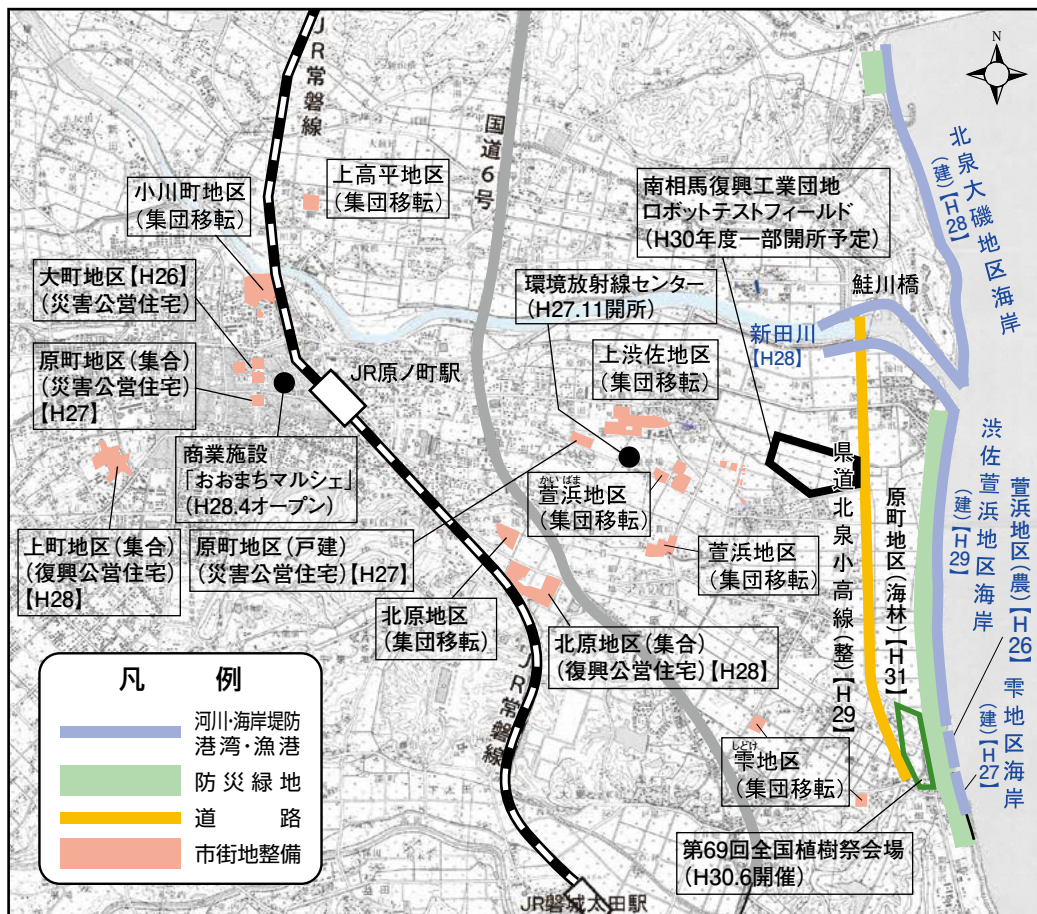


復旧・復興工事の状況（松川大洲海岸）



みなみ そう ま し はら まち
南相馬市 原町区

①地域の絆で結ばれたまちの再生
②創造と活力ある経済復興
③安全・安心のまちづくり



被災時の状況 渋佐萱浜地区海岸



ロボットテストフィールド 造成工事状況



復旧・復興工事の状況（渋佐萱浜地区海岸）



みなみ そう ま し か し ま
南相馬市 鹿島区



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1428号)

みなみ そう ま し お だ か
南相馬市 小高区



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

津波被災地の復興まちづくり

な み え ま ち

浪江町

復興計画(第二次)の基本方針

- ・先人から受け継ぎ、次世代へ引き継ぐ「ふるさと」なみえを再生する
- ・被災経験からの災害対策と復興の取組を世界や次世代に生かす
- ・どこに住んでいても、全ての町民の暮らしを再建する



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

復旧・復興工事の状況(棚塩地区海岸)



復旧・復興工事の状況(請戸中浜地区海岸)



津波被災地の復興まちづくり

ふ た ば ま ち

双葉町



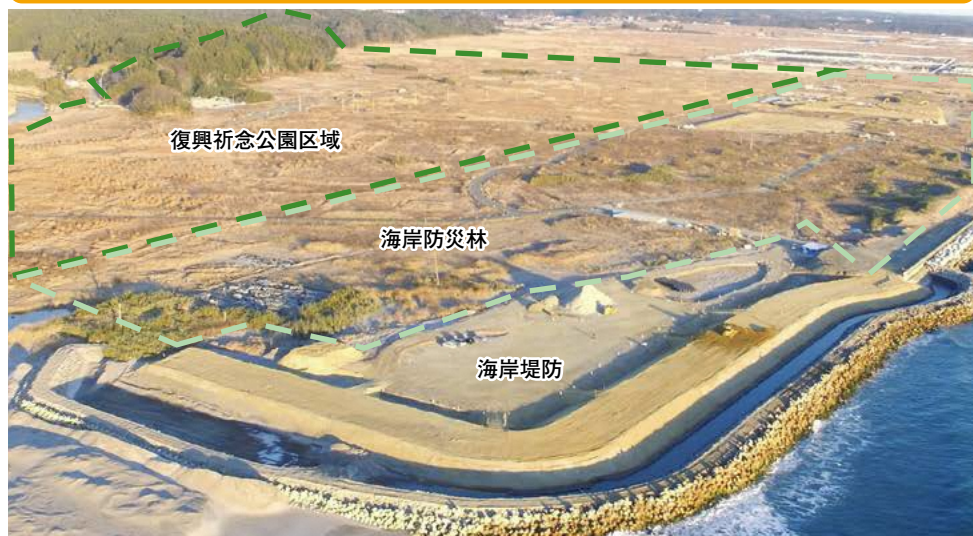
復興まちづくり計画(第二次)の基本理念

- ふるさとへの帰還を果たし、魅力ある町の再興
- 町民一人一人の生活再建の実現
- 町民のきずなの維持・発展、ふるさとへの思いを繋ぐ



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

復旧・復興工事の状況(双葉中浜地区海岸)



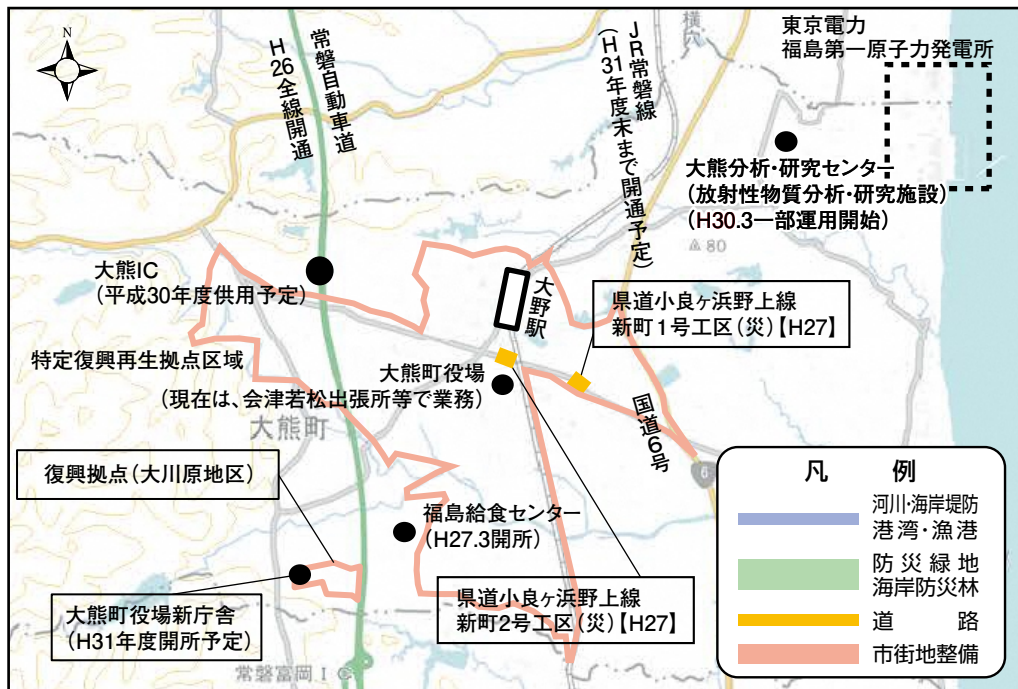
復旧・復興工事の状況(郡山中野地区海岸)



お　お　く　ま　ま　ち

復興計画(第二次)の基本理念

- 「町民生活支援」「町土復興」を2本柱とし、「避難先での安定した生活」と「帰町を選択できる環境づくり」を目指します。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1428号)



大川原地区 復興再生拠点 工事状況



災害復旧事業 小良ヶ浜野上線(新町1号工区)



津波被災地の復興まちづくり

と み お か ま ち

富岡町

災害復興計画(第二次)の基本理念

- ・町民一人ひとりの“心”の復興
- ・町民の心をつなぐ“ふるさと富岡”の復興



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

**堤防工事着手前状況
毛萱仏浜地区海岸**



**復旧・復興工事の状況
紅葉川**



復旧・復興工事の状況(毛萱仏浜地区海岸)



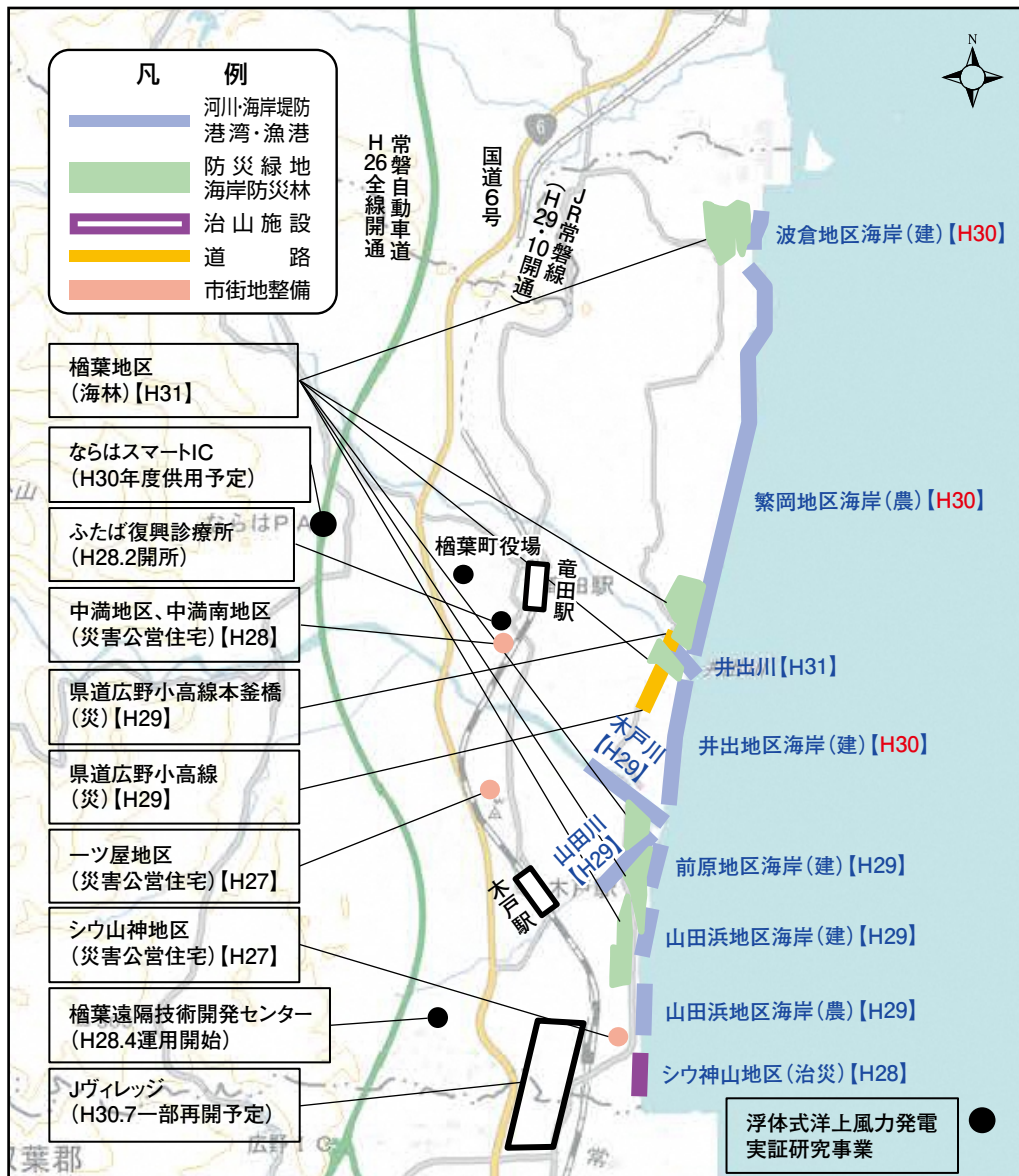
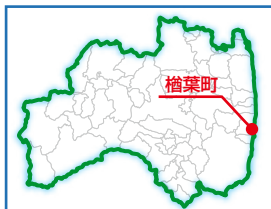
津波被災地の復興まちづくり

な ら は ま ち

檜葉町

復興計画(第二次)の基本理念

- ・安全・安心な生活の再建
- ・町民の主体的参画と自立
- ・次世代への継承
- ・広い視野に立つ復興



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

復旧・復興工事の状況(前原地区海岸)

広野火力発電所



復旧・復興工事の状況(井手地区海岸)

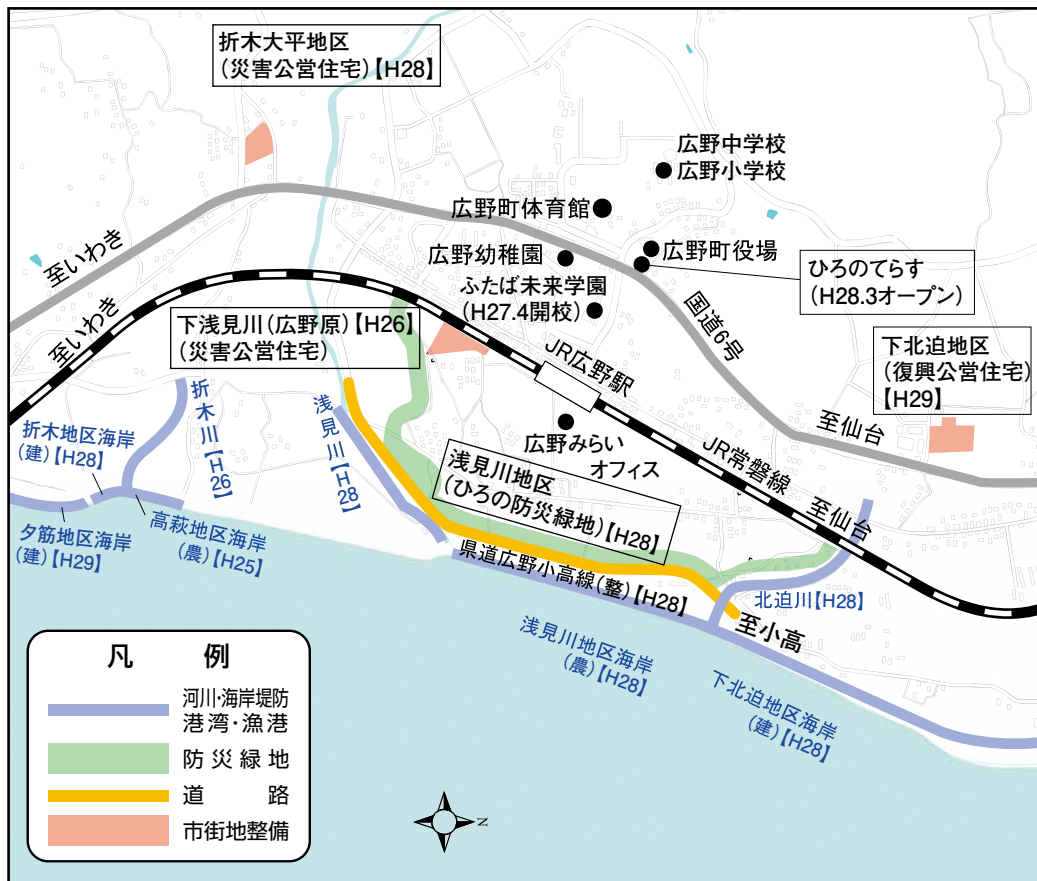
常磐自動車道



あさ み がわ
ひろ の まち
広野町 浅見川地区

復興計画(第二次)の基本方針

- ・誰もが安心して暮らせるまちづくり
- ・災害に強い都市基盤と心のネットワークによる安全・安心なまちづくり
- ・21世紀の世界を担う新たな産業創出による賑わいのあるまちづくり
- ・双葉地域の復興を担うまちづくり



被災時の状況 浅見川地区



ひろの健康ウォーク(ひろの防災緑地) 平成28年10月30日開催



復旧・復興の状況(浅見川地区全景)



いわき市 久之浜地区

復興まちづくりの基本的視点

- ①災害に強い地域づくり
- ②観光等地場産業の復興
- ③水辺、自然環境を活かした地区の復興



被災時の状況 久之浜地区



防災緑地植樹祭 平成27年4月11日開催



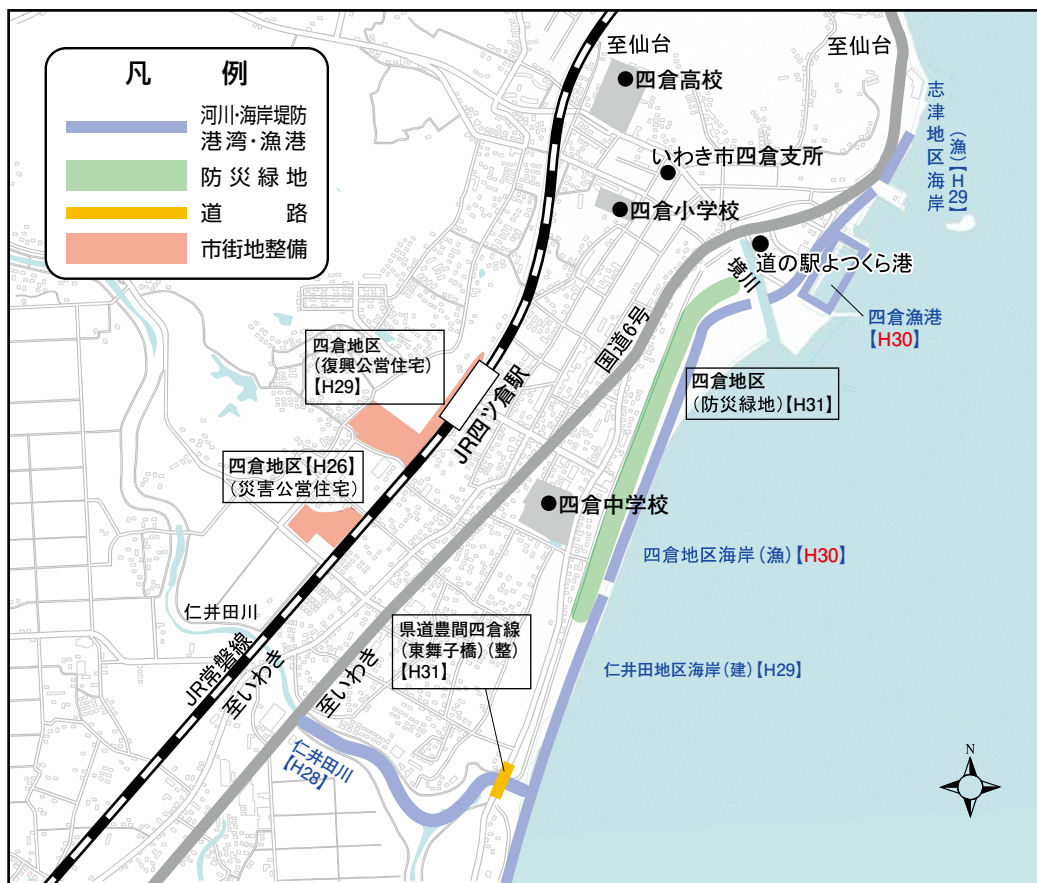
復旧・復興工事の状況(久之浜地区海岸全景)



いわき市 よつ くら 四倉地区

復興まちづくりの基本的視点

- ①災害に強い地区づくり
- ②「道の駅よつくら港」を復興のシンボルとした再生
- ③海浜レクリエーション地域の整備



被災時の状況 四倉漁港



復旧・復興工事の状況 東舞子橋



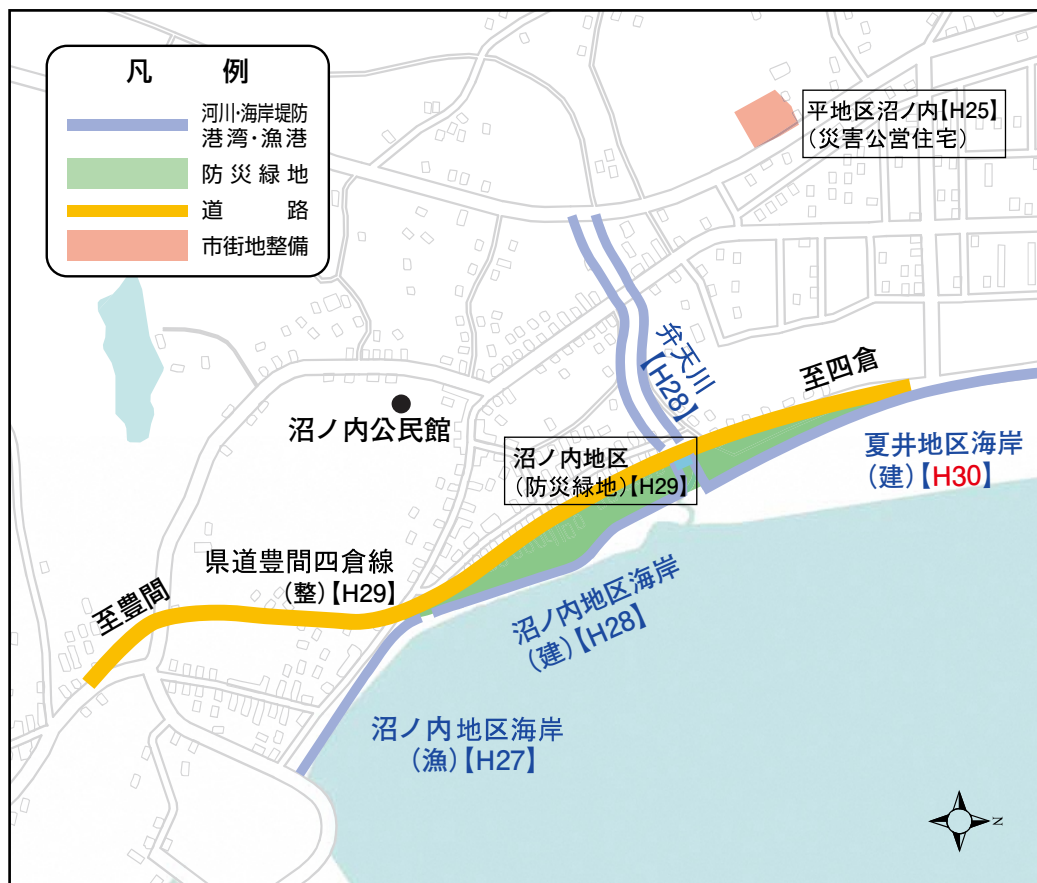
復旧・復興工事の状況(四倉地区海岸全景)



いわき市 沼ノ内地区

復興まちづくりの基本的視点

- ①市街地の安全性の向上
- ②観光振興、生活利便性の向上
- ③災害に強い市街地の形成



被災時の状況 沼ノ内地区海岸



弁天川水門 平成29年4月供用開始



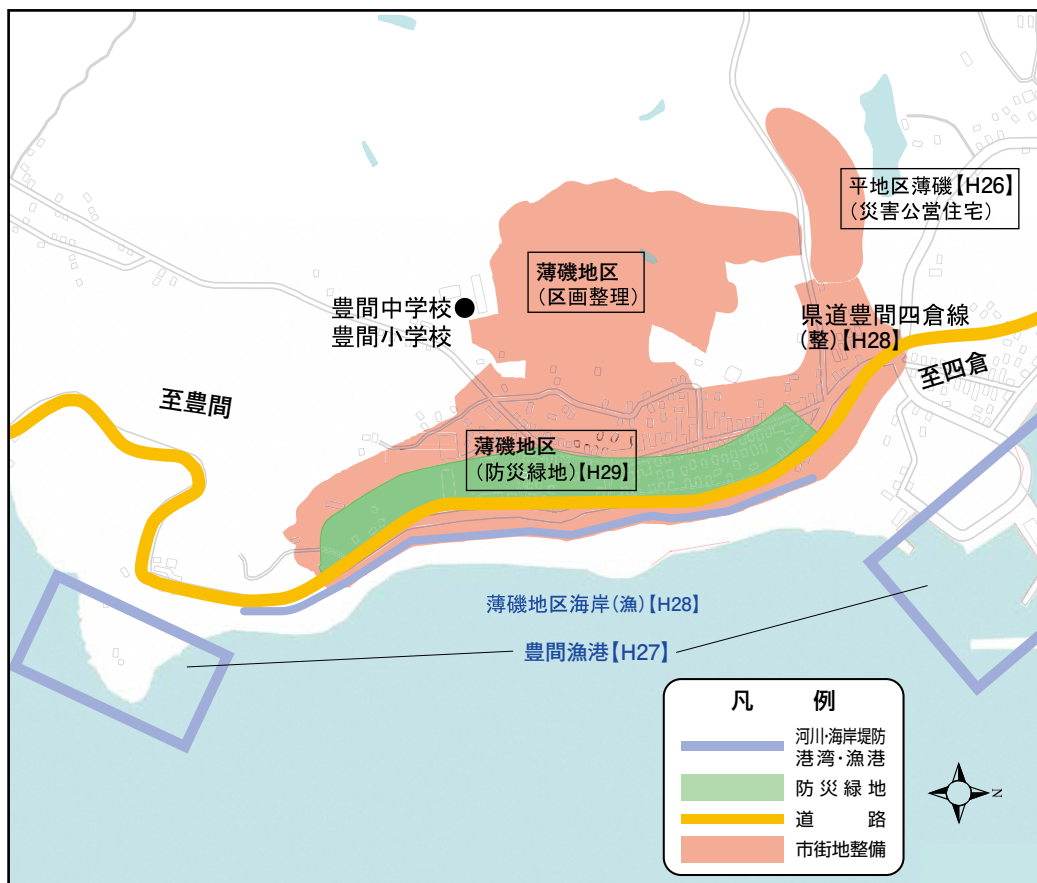
復旧・復興工事の状況(沼ノ内地区海岸全景)



いわき市 薄磯地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 観光振興、生活利便性の向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



被災時の状況 薄磯地区海岸



薄磯海水浴場海開き 平成29年7月15日



復旧・復興工事の状況（薄磯地区海岸）



いわき市 豊間地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 観光振興、生活利便性の向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



被災時の状況 豊間地区海岸



豊間防災緑地植樹祭 平成28年11月20日開催



復旧・復興工事の状況（豊間地区海岸全景）



いわき市 永崎地区

復興まちづくりの基本的視点

- ①河川、海岸の防災対策
- ②防災対策等による地域の安全性向上
- ③災害に強い市街地の形成



いわき市 岩間地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 海岸の防災対策
- ③ 災害に強い市街地の形成



本県の復興に向けた ふくしま復興再生道路の整備

目標

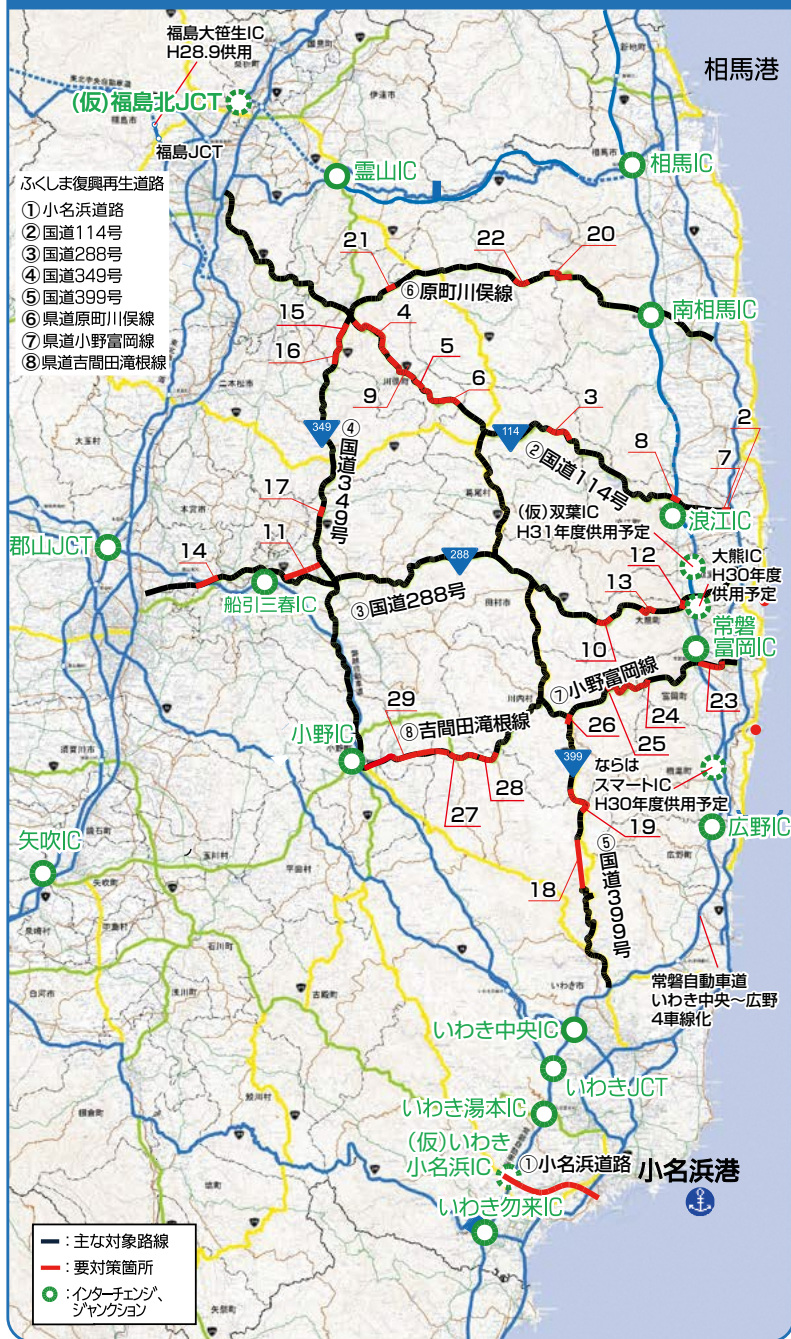
「ふくしま復興再生道路(8路線、29工区)」は、平成29年度までに10工区が供用し、残工区についても、平成30年代前半までの供用を目指し、整備を進めます。

復興整備の進捗(平成30年3月31日現在)

項目	箇所数	工事進捗率
工区	29箇所	調査設計 5箇所 17%
		工事中 14箇所 48%
		供用 10箇所 35%

「ふくしま復興再生道路」整備箇所一覧						
箇所番号	路線名	市町村名	工区名	調査設計	工事中	供用
1	①小名浜道路	いわき市	小名浜道路		○	
2	②国道114号	浪江町	浪江拡幅2	○		
3			櫛平	○		
4		川俣町	山木屋1		○	
5			山木屋2		○	
6			山木屋3		○	
7		浪江町	浪江拡幅1			○
8			室原拡幅			○
9		川俣町	小綱木バイパス			○
10		③国道288号	大熊町	○		
11		田村市	船引バイパス		○	
12		大熊町	野上山神			○
13			玉ノ湯			○
14		田村市	三春西バイパス			○
15	④国道349号	川俣町	大綱木2		○	
16			大綱木1		○	
17	⑤国道399号	田村市	新館		○	
18		いわき市	十文字		○	
19		いわき市 川内村	戸渡		○	
20	⑥原町川俣線	南相馬市 飯館村	八木沢			○
21		川俣町	水境			○
22		飯館村	芦原			○
23	⑦小野富岡線	富岡町	高津戸	○		
24		富岡町 川内村	五枚沢2	○		
25		川内村	五枚沢1		○	
26			西ノ内		○	
27		いわき市	小白井		○	
28			吉間田			○
29	⑧吉間田滝根線	田村市 小野町	広瀬		○	

「ふくしま復興再生道路」整備箇所



JR常磐線

新地	運動再開済
駒ヶ嶺	運動再開済
相馬	運動再開済
日立木	運動再開済
鹿島	運動再開済
原ノ町	運動再開済
磐城太田	運動再開済
小高	運動再開済
桃内	運動再開済
浪江	運動再開済
双葉	平成31年度未だ再開見込み
大野	平成31年度未だ再開見込み
夜ノ森	平成31年度未だ再開見込み
富岡	平成31年度未だ再開見込み
竜田	平成31年度未だ再開見込み
木戸	平成31年度未だ再開見込み
広野	平成31年度未だ再開見込み
未統	平成31年度未だ再開見込み
久ノ浜	平成31年度未だ再開見込み
四ノ倉	平成31年度未だ再開見込み
草野	平成31年度未だ再開見込み
いわき	運動再開済
内郷	運動再開済
湯本	運動再開済
泉	運動再開済
植田	運動再開済
勿来	運動再開済

運動再開済

平成31年度未だ再開見込み

運動再開済

代行バス運行中

復興を支える道路や物流基盤の整備

ふくしま復興再生道路の完成箇所(H29年度)

県道原町川俣線 八木沢トンネル(南相馬市、飯舘村) 平成30年3月18日開通



ふくしま復興再生道路の施工箇所

国道399号 戸渡トンネル(いわき市、川内村) トンネル延長768m



小名浜道路(いわき市) 計画道路延長8.3km



ふくしま復興再生道路の完成箇所(H28年度まで)

県道原町川俣線芦原工区(飯舘村)
平成28年10月25日開通



県道小野富岡線五枚沢1工区鍋倉トンネル(川内村)
平成28年6月20日開通



国道288号野上山神工区(大熊町)
平成28年3月29日開通



国道114号浪江拡幅1工区(浪江町)
平成27年9月29日開通



国道114号小綱木バイパス(川俣町)
平成27年6月28日開通



県道小野富岡線吉間田工区(いわき市)
平成27年3月24日開通



トピックス

相馬福島道路(相馬玉野IC～霊山IC)の開通

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)で、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。平成30年3月10日に「相馬玉野IC～霊山IC」間の17kmが開通し、全体の6割にあたる、計27.5kmが無料で通行できます。



JR常磐線の再開通

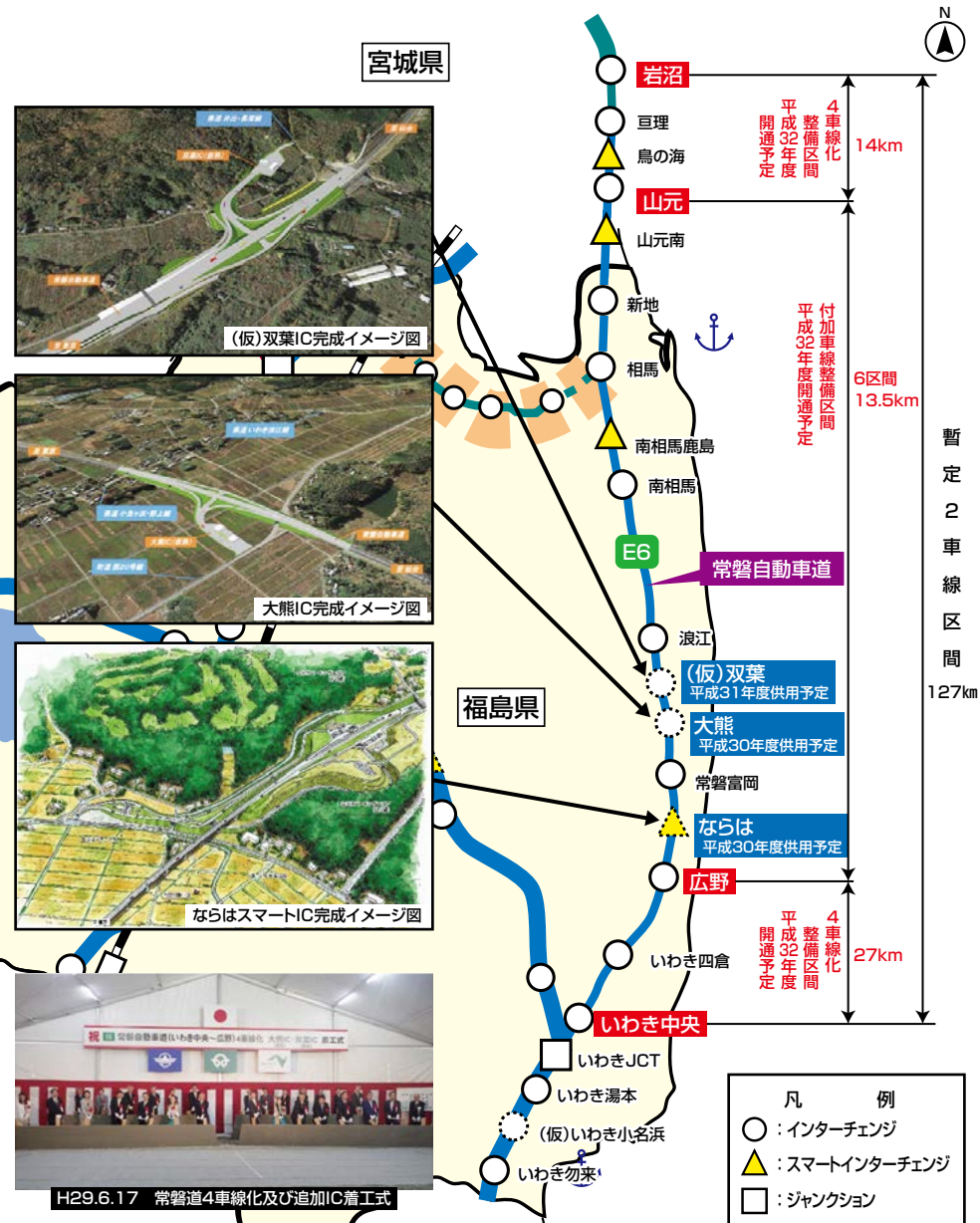
東日本大震災の津波で線路や駅舎が被災し、不通になっていたJR常磐線の竜田(楢葉町)～富岡(富岡町)駅間(6.9km)が平成29年10月21日、震災から6年7ヵ月ぶりに再開通しました。これにより、住民の利便性が高まるとともに、復旧・復興の加速化につながると期待されています。

※平成31年度末まで全線が再開通の見込み



常磐自動車道 4車線化、追加IC等の整備

常磐自動車道のいわき中央IC～広野IC間、山元IC～岩沼IC間の4車線化が、復興・創生期間である平成32年度までの完成を目指し、整備が進められています。
また、広野IC～山元IC間の付加車線の設置や追加IC等も整備中です。



港湾整備による 地域産業の復興と 国際物流の支援



取扱い貨物量の増加、船舶の大型化等に対応するため、港湾の整備を行います。

港湾の利用状況

相馬港(荷役機械)



相馬港(上屋)



相馬港の整備状況

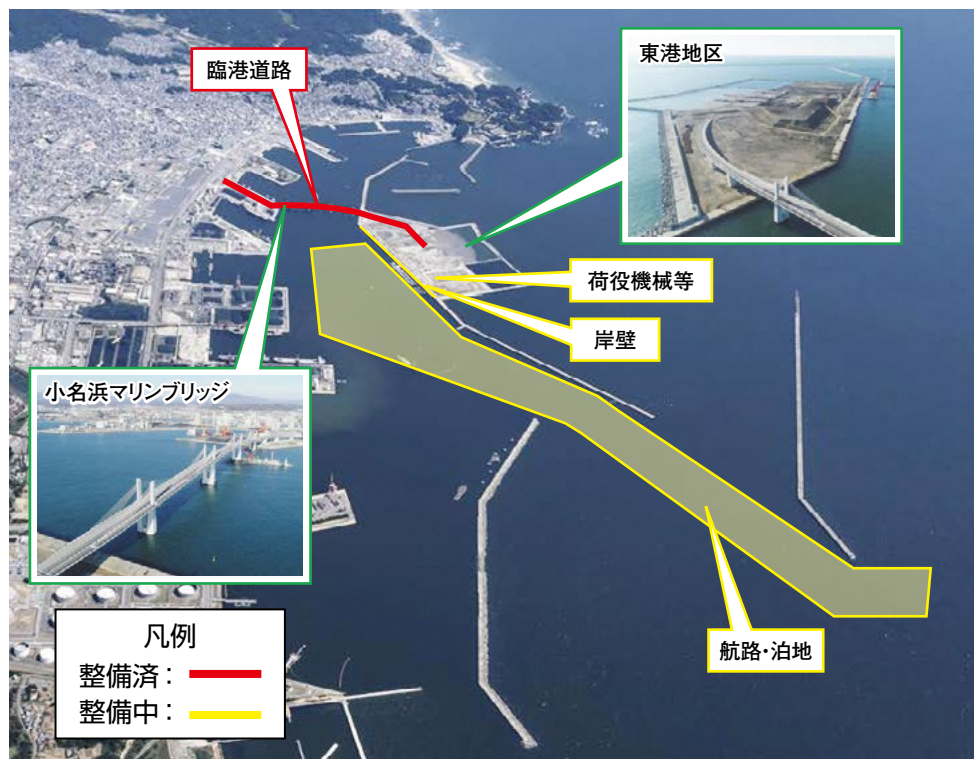
相馬港4号ふ頭(相馬LNG基地)



LNGとは、天然ガスを冷却して液化したもので、都市ガスや発電所の燃料として使用されます。相馬 LNG 基地の整備により、仙台・新潟方面への天然ガスの安定供給が可能となります。また、基地に隣接して建設中である火力発電所の燃料としても利用されます。

小名浜港の整備状況

2020年のIGCC本格稼働による石炭貨物の大幅な輸入増加に対応するため、小名浜港東港地区を整備します。



小名浜マリブリッジ完成披露式 (H29.4.23)



小名浜マリブリッジ一般開放



IGCCとは、石炭を高温高圧のガス化炉を用いてガス化し、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせて発電することで、従来の石炭焚き火力発電に比べ、発電効率を向上させ、CO₂排出低減にも寄与する火力発電システムです。

漁港整備による 水産業の復興支援



漁港区域内の海岸を含めた**漁港施設の復旧**は、**平成32年度までの完了**を目指します。

10漁港の完了見通し

	港湾名	完了年度
1	釣師浜漁港	H29年度
2	松川浦漁港	H30年度
3	真野川漁港	H30年度
4	請戸漁港	H32年度
5	富岡漁港	H30年度

	港湾名	完了年度
6	久之浜漁港	H27年度
7	四倉漁港	H30年度
8	豊間漁港	H27年度
9	小浜漁港	H28年度
10	勿来漁港	H26年度

漁港施設の復旧状況

真野川漁港(復旧状況)



富岡漁港(復旧状況)



松川浦漁港の復旧状況

松川浦漁港(被災状況)



松川浦漁港(復旧状況)



水産業の復興

小名浜港(マグロ水揚げ)



小名浜港(カツオ水揚げ)



請戸漁港(出初め式)



請戸漁港(出港状況)





公園区域



国・県の役割

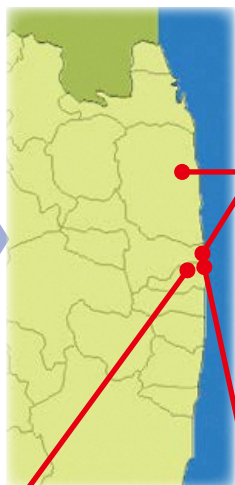
双葉・浪江両町にまたがるエリア(中野・両竹地区)

取組の経緯

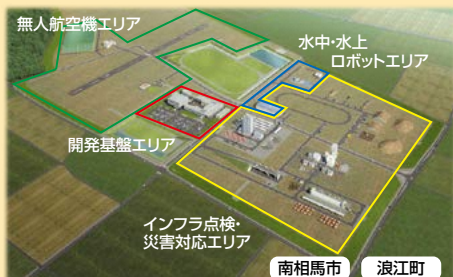
福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災、原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指すものです。廃炉やロボット技術、エネルギー関連産業、農林水産等の分野における産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組みます。

福島県浜通り
地域等の再生



ロボットテストフィールド



災害対応ロボット等の、実証試験や性能評価を行います。平成30年度以降順次開所予定。

情報発信拠点 (アーカイブ拠点施設)

展示室全体イメージ



東日本大震災及び原子力災害の実態と復興への取組を正しく伝え、教訓として国を越え、世代を超えて継承・共有していきます。平成32年度開所予定。

再生可能エネルギー由来 水素プロジェクト



浪江町(棚塩・請戸地区)において、再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。平成32年運転開始予定

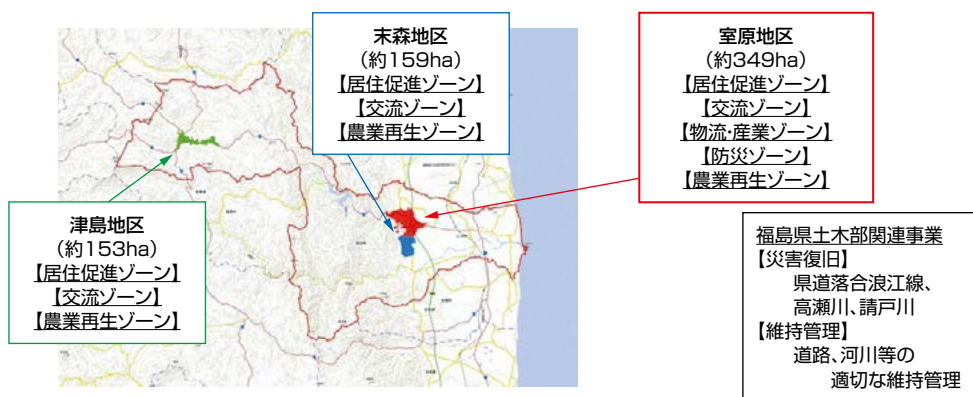
※土木部関連事業について掲載

特定復興再生拠点区域

特定復興再生拠点区域は、帰還困難区域のうち、避難指示を解除し、早期に原子力災害からの帰還者等の居住を可能とすることを目指す区域です。各自治体は、5年後までに特定復興再生拠点区域の避難指示解除を目指し、除染やインフラ整備を進めていきます。

浪江町

計画期間:H29.12.22(認定日)~H35.3



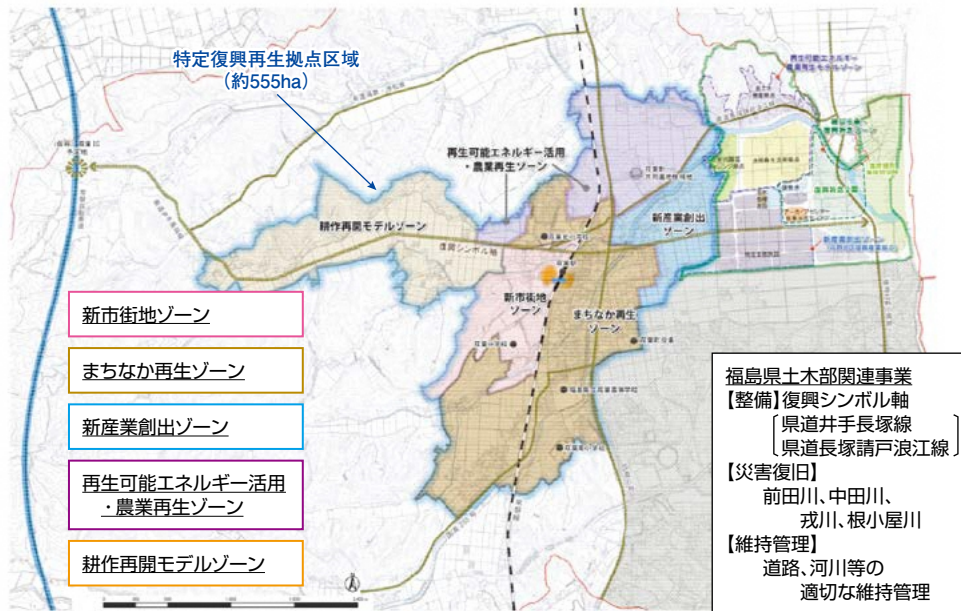
富岡町

計画期間:H30.3.9(認定日)~H35.5.31



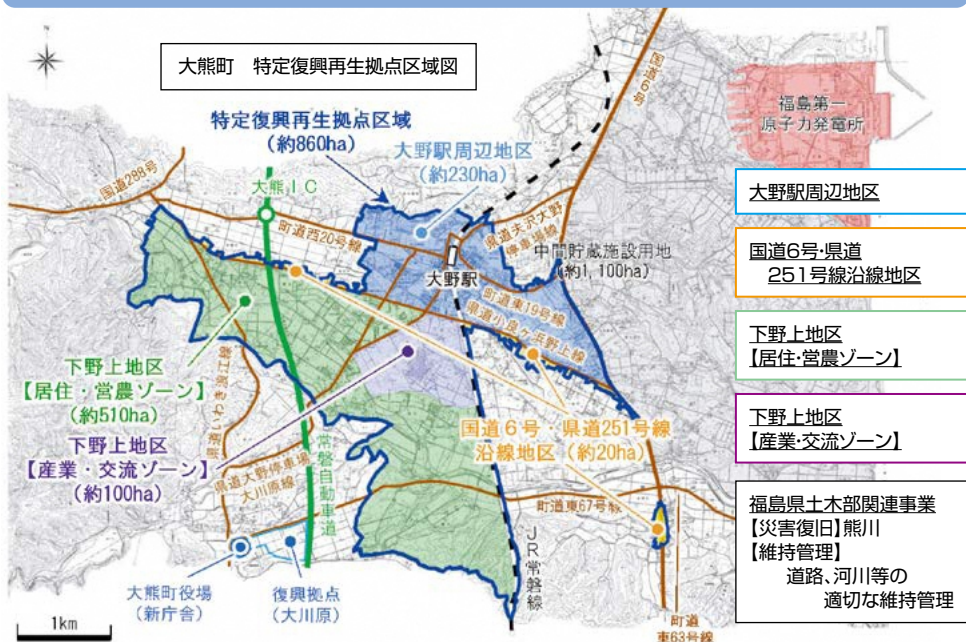
双葉町

計画期間: H29.9.15(認定日)～H34.8.31



大熊町

計画期間: H29.11.10(認定日)～H34.9





相双建設事務所【派遣職員とともに】大浜地区海岸（相馬市）（平成30年2月21日）



いわき建設事務所【派遣職員とともに】（平成30年2月19日）



小名浜港湾建設事務所【派遣職員とともに】
小名浜マリブリッジ（いわき市）
（平成30年2月5日）



相馬港湾建設事務所【派遣職員とともに】
松川浦漁港緑地（相馬市）
（平成30年2月19日）



福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまから はじめよう。キビタン」

福島県土木部

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 電話：024-521-7886

メールアドレス：dobokukikaku@pref.fukushima.lg.jp

■福島県公共土木施設 復旧・復興情報ホームページは

『福島県公共土木施設 復旧・復興情報』で検索してください。

2018年3月31日

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。